

PHOTO PALETTE

町のさまざまな話題を
カメラでおいかけます。

5月29日、長柄公民館で親子で木工教室が行われました。参加した親子は、のこぎりで木材を切ったり、金づちでくぎを打ちつけたりして、スパイスラック(調味料棚)を製作。森戸琉太さん(西ノ根宮内中島・24区)は、「のこぎりでも切るところが、難しかったです。でも、お父さんと一緒に作ることができたので、とても楽しかったです。ぜひ、お母さんにプレゼントしたいです」と話してくれました。



お父さんの「のこぎりでも切るところが、難しいね」

無理なく自分のペースで



6月12日、町民体育館で無理なく体を動かすパドル体操教室が行われました。松崎孝子さん(水立大黒・23区)は、「無理なく自分のペースで体操できるので、年配の人たちにもおすすめです。肩こりにも効果があり、ストレッチ発散にもなるので、ぜひ続けていきたいです」と話していました。

日常の生活に茶道の心を



6月18日、マンガプラザで保育付き茶道体験講座が行われました。参加した本間緑さん(鷗上・12区)は、「茶道を通して、お客様をもてなす作法が学べて、とても勉強になりました。先生が丁寧に教えてくれたので、分かりやすくて、茶道にさらに興味がわきました」と話していました。

とても元気で100歳に



6月14日、吉田さん(一本木・18区)が100歳を迎えました。吉田さんは、「好き嫌いせず何でも食べるようにして、何より規則正しい生活を心掛けています。魚釣りが大好きで、最近まで近所の川で魚つりをしていたんですよ。庭木の手入れが一番の楽しみです」と話していました。

町の歴史 連載 三百四十四回

第46回

細谷清吉(歴史研究家)

細谷右馬助秀国(十三)秀国の子孫(一) 清和源氏で後醍醐天皇南朝方の総大将新田義貞の重臣、中野藤内左衛門・細谷右馬助・篠塚伊賀守の三将については、すでに書きましたが、いづれもこの邑楽町関係の人で、太平記でも有名です。篠塚伊賀守の子、篠塚東馬が新田義興(義貞の子)十三騎の一人であることを前に書きました。篠塚馬場の篠塚城は東馬の死によって、絶えてしまいました。篠塚城の後、細谷右馬助の子孫が篠塚村一帯の支配勢力となり、小泉富岡城領の佐貫庄二十一郷、小泉・新島・矢島・仙石・新福寺・築

肥地・古水・寄木戸・別所・福島・内ヶ島・吉田・古戸・巨海(古海・舞木・藤川・飯塚・篠塚・中野・石打・千波(坂田)の内、篠塚の出城となりました。小泉城は富岡城とも呼ばれ、戦国時代の延徳元年(四八)九月、結城氏朝の弟久朝の子富岡直光が、古河公方足利成氏の命によって築城したものです。直光・秀光・秀信・秀親・秀高・小山重朝(秀光の六代百一年の居城でした)。館林城主赤井照康(照光の子)の老臣毛呂因幡守秀忠は大袋城主でしたが、わが子を城主にするために逆心をおこして、館林城の内乱となりました。一方の家老小曾根玄蕃允政義と対立となり、これを討とうとしたので、足利城主長尾但馬守顕長は一族郎党を集めて毛呂討伐をはかりました。顕長に味方するものに、足利の白石豊前守・小

泉城主富岡対馬守や飯野の洲名・藤岡の富田・面島の浅羽・北大島の片見などがあり、元亀元年(一五七〇)十月二十五日に館林城へ発向と定めました。この時の小泉軍出陣武者揃えを館林記・館林盛衰記・龍泉院文書などには、「小泉城主富岡六郎四郎(秀高)・嫡子新三郎・次男兵太夫・築比地若狭守・同甚内・浜野弾正・同弾左衛門・桜井丹波守・同五郎三郎・新井丹後守・細谷右馬助(義重)・同与一郎・杉山図書・同長四郎・宮杉源左衛門・新福寺五郎三郎・茂木若狭・同三郎・堀越藤兵衛・久保田五郎佐衛門・近藤又三郎・同采女・川上甚三郎・中島久四郎・永見弥市郎・飯田右近・武士孫兵衛」とあり、細谷右馬助義重・同与一郎が細谷右馬助秀国の子孫であることを示しています。



坪谷にある細谷館跡